

事業の名称：第2次中野地区計画策定

団体名	中野の里づくり委員会	事業費	267,807円
代表者	会長 奥田 武	補助金交付額	200,000円

現状と課題

中野地区は、今年度「第2次中野地区計画」を策定する。今現在、中野地区は、少子高齢化により次世代の担い手が減少していることに加え、長いコロナ禍の為、イベント等が規制され、中野地区全体の活気がなくなっている。

事業の目的

「第2次中野地区計画」策定に中野地区を担う、次世代の想いを取り入れたい。また、若者が中心となるイベント「なかのフェス～神楽とゆかいな仲間たち～」を企画段階から一緒に取り組むことで、地域の活性化と、郷土愛を育み、中野地区を担う若者の、担い手育成を図りたい。

実施内容

◇実施状況

地区計画策定会議（策定委員13名＋事務局6名）

地域の各世代の方に委員になっていただき、令和5年5月17日、9月13日、10月11日、11月15日、12月13日、令和6年1月17日、3月13日と7回会議をし、第2次中野地区計画を策定。令和6年度の総会にて承認を経て冊子印刷にかかる予定。

令和5年6月18日（日）に「なかのフェス」を地域の若者グループと企画・開催し地区内外から約400名の来場者があった。

◇成果と課題

地区計画を策定するにあたり、「なかのフェス」を6月に開催。来場者が予想を超え、大変盛り上がった。この成果もあり、地区計画の中に「なかのフェス」を毎年するという項目が加わった。また、策定会議の中で、地域の方の意見や話し合いがとても有意義だった。この会を通して、今後も定期的に皆さんが話し合える場所や時間ができればいいと感じた。

今後、若者の「笑んがわ市」みたいなサロンや交流場所ができるといいと思いました。中野の里づくり委員会の事務局は若者の意見を聞いてサポート側にまわる方が、いきいきと活動できるし、面白い企画が生まれると思いました。

